

レポートの書き方①

聖隷クリストファー大学学習支援室

20200715miyamae

世界思想社編集部：大学生学びのハンドブック.4訂版.世界思想社、
2018,pp36-42 より

大学でのレポートとは？

- 「根拠に基づいて主張をのべた文章」のこと

- 大学では

「～について賛成か反対か述べ、その理由を論じなさい」、

「～に関連して、2000字程度で自由に書きなさい」

といったレポート課題が

ゼミや講義の課題

長期休みの課題

学期末試験

卒業論文 としてなど 様々な場面で出される

感想文とレポートの違い

- ◆大学のレポートは、小・中学校で書いたような感想文とは違う。
- ◆高校までの課題で、調べたことを「事実」としてまとめる「調べ学習」もあるが、大学のレポートでは、調べて分かった事実を「根拠」として、自分の意見を「主張」しなければならない。

感想文		レポート
感じたままを表現する	内 容	「主張」とそれを支える「根拠」を述べる
書きたい順序で	構 成	決まった形式に沿って
主観的・個人的に	視 点	客観的・一般的に

ルールさえ守れば誰でも書ける

- レポート4つのルール

ルール① 「主張」と「根拠」を示す

ルール② 3部構成で組み立てる

ルール③ 「先行研究」をふまえる

ルール④ 決まった形を守る

ルール①

「主張」と「根拠」を示す

☑主張と根拠はセットで

- レポートでは自分なりに調べたこと、考えたことを主張することが大切
- しかし単に「～なのだ」「私はこう思う」と言い張るだけでは説得力がない
- その「主張」が正しい理由、即ち「根拠」を示す必要がある

☑「事実」と「先行研究」が根拠になる

事実：統計資料など（総務省統計局の○○によれば．．．）

先行研究：論文や本の形で発表されている**研究成果**

ルール②

3部構成で組み立てる

✓ 「序論」「本論」「結論」の順番で

レポートの文章は、「序論」「本論」「結論」の3部構成で組立てる

- ①序論（はじめに）：「どんな問題（問い）」について
「どんな結論（主張）」を導くかを予告する
- ②本論：なぜその結論（主張）が導かれるのかを、「根拠」を積み重ねて説明する
- ③結論（おわりに）：積み重ねた根拠から、問題に対してどんな結論（主張）が導かれたのかをまとめる

✓まず「結論」を述べる

- ①序論で「結論（主張）」を述べ、②本論で「なぜそうなるのか？」を明らかにし、③結論で、もう一度「結論」と「結論に至るまでの過程」をおさらいする。

ルール③

「先行研究」をふまえる

レポートでは、これ迄になされてきた主張、即ち「先行研究」をふまえて、それに対して自分はどう考えるかを示す必要がある

☑ 「引用」をしよう

先行研究をふまえたレポートにするには、本や論文から「引用」をする

☑ 自分の文章と他人の文章をはっきり区別する

引用するときは、その文章が他の人の文章であることを必ず示す

ほかの人の文章は「 」でくくって区別する。この場合元の文章と一字一句違ってはいけない。

例：以上より、メール機能は対人関係を自由にコントロールし、「自分の好きな時に好きな相手と繋がる」（三宅、2005、p.142）ことを可能にしているように思える

ルール④

決まった形式を守る

☑「である調」で、話し言葉は使わない

～です→**である** ～でした→**であった** ～します→**する**
～しました→**した** でも→**しかし** だって→**なぜなら**
だから/なので→**したがって**

☑指定された体裁を守る

レポート課題では分量が指定される。**2000字程度**であれば**プラスマイナス10%程度**にする。その他「縦書き/横書き」「表紙の有無」、**余白、行数、字数**などが指定されることがあるので守る

☑最初に「表題」、最後に「参考文献」

3部構成のレポート本体のほかに、最初に「**表題（タイトル）**」を、最後に「**参考文献**」リストをつける

☑参考文献リストの書き方

引用した文献や参考にした文献を、著者名の50音順や発表年順にリストアップする。

学問分野によって、書き方に多少の違いがある。基本的には次のような情報を記載する。

◆書籍（一般的な本）：著者名、（発行年）、書名、（訳者名）、出版社名

藤田大祐（2008）「ケータイ世界の子どもたち」講談社現代新書

◆書籍に載っている論文：著者名、（発行年）論文名、編者名、書籍名、出版社名

三宅和子（2005）「携帯電話と若者の対人関係」橋本義明編『講座社会言語科学（第2巻）メディア』ひつじ書房

◆雑誌に載っている論文：著者名（発行年）論文名、雑誌名、巻（号）、掲載ページ

黒川正幸・吉田俊和（2016）「大学新生におけるLINEネットワークと友人満足感および

精神的健康との関連」『実験社会心理学研究』56（1）、1-13

◆新聞：新聞名（地域）、発行年月日、朝刊/夕刊、面

『朝日新聞』（東京）2017年9月5日、朝刊、3面

●レポートの具体例を、参考書で読みましょう！！

世界思想社編集部（2018）「大学生学びのハンドブック.4訂版」世界思想社